

英語科学習指導案

令和2年10月22日(木) 第5校時(13:30～14:20) 3年1組 指導者 ○○ ○○
ALT ○○ ○○

- I 題材名** Unit 5 「学校へのスマホの持ち込みについて考え、
ALT ○○先生の妹の疑問に答えよう」
Living with Robots - For or Against (New Horizon English Course 3)

II 学習指導要領上の位置付け

目標 (3) 話すこと [やり取り]

ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。

内容 エ 話すこと [やり取り]

ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、読み取ったことや感じたこと、考えたことなどを伝えた上で、相手からの質問に対して適切に応答したり自ら質問を返したりする活動。

III 目標

- (1) 社会的な話題について、自分の考えや気持ちなどを、積極的に述べ合ったり、質問し合ったりしている。(関心・意欲・態度)
- (2) 社会的な話題についての自分の考えに、理由や自分の経験等を加え、内容や構成を工夫し、書いたり話したりすることができる。(表現)
- (3) ディベート形式の話し合い活動で、相手の主張の概要や要点をつかみ、適切に応じることができる。また、教科書等の英文を読み取り、内容をつかむことができる。(理解)
- (4) 現在分詞・過去分詞の形容詞的用法や、間接疑問文の文構造を理解している。ディベート形式での議論構成について知識を持っている。(言語・文化)

IV 指導計画 ※別紙参照

V 教材観

昨今、日本では、登下校中の安心・安全のため、小・中学生のスマートフォンの所持が一部認められた。また、アメリカの学校でも、スマートフォンの学校持ち込みが徐々に解禁になるなどの動きが見られる。一方、オーストラリアでは、これまで認めてきたスマートフォンの持ち込みを、学習への集中力低下を理由に一部制限するなどの動きが見られる。スマートフォンの有用性は認めるものの、その使用にはさまざまな問題や危険をはらんでおり、学校への持ち込みについて、その対応にどの国の学校も苦慮するところである。

本題材では、このスマートフォンの学校への持ち込みについて、簡単なディベート形式の話し合い活動を設定した。ディスカッションではなくディベートにすることで、立場の違う相反する意見をもつ経験をさせ、より深く広く問題について考える力を身に付けさせることができると考えた。新出言

語材料である現在分詞・過去分詞の形容詞用法，そして，間接疑問文に合わせ，議論・討論で使用される表現を用いながら，生徒には身近な問題でもあるスマートフォンについて考えさせることで，社会的な問題に関心をもち，多面的な視点で物事を考える姿勢をもたせていきたい。

VI 本時の展開（2／9）

1 ねらい

学校生活でスマートフォンが活用できるさまざまな場面を想定することで，スマートフォンの有用性について自分の考えを深めることができるようにする。

2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子どもの意識
1 あいさつ，ウォームアップをする。（12分） Mini Talk ○既習事項を使ってペアでやり取りさせる。 Which is better, A or B? ○一回目の活動の後，表現できなかったことや間違いを指導・修正し，賛成・反対の表現を加えて3人グループでもう一度活動をさせる。その際，簡単なディベートの練習として，自分の意見に関係なく，賛成・反対の意見を交互に出すように繰り返し会話させる。			
2 本時のめあてをつかむ。（8分） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <単元の課題> 学校へのスマホの持ち込みについて考え，ケイティ先生の妹の疑問に答えよう。 </div> ○前時の復習として，ALT の妹のメール文の概要を聞き，ALT との簡単なやり取りを通して内容を確認させる。また，現在分詞・過去分詞を用いた文を取り出し，用法を理解し，本時のめあてをつかませる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> めあて スマホが学校生活のどんな場面で役に立つのかを話し合おう。 </div>			
3 スマートフォンが役に立つ場面についてペアで話し合う。（25分） ○中学校での1日の生活に合わせて，スマートフォンで「いつ・どこで（どんな場面で）・どんなことが」できるのかについてペアで会話させる。 What can the sutudents <u>using smartphones</u> do <u>*at school?</u> *on the way to school / during class / after lunch / after school / on the way home ○全体で確認し，考えと表現を共有させる。 ○パートナーを代え，共有したことを生かし「スマートフォンでできること」についてもう一度会話させる。 ○自分の考えをワークシートに簡単に書いてまとめさせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 学校でのスマートフォンの使用場面について表現しようとしている。<表現> </div>			
4 本時のまとめ・振り返りをする。（5分） ○本時の活動を振り返り，Grow -up Sheetに感想をまとめさせる。 ☆現在分詞・過去分詞の形容詞的な使い方がわかった。【言語面】 ☆スマートフォンは学校でもいろいろな場面で役立ち，便利なものだとうわかった。【内容面】			

Introduction) E-mail from Elizabeth

Hi, everyone,

In Australia, we can bring and use smartphones at school. But recently, in some states of Australia, using smartphones at school has been *forbidden. And also at our school, there is a movement to* forbid the use of smartphones. Some teachers say, “The students forbidden to use smartphones concentrate on studying” Is that true? Do the students using smartphones not study well?

I heard that Japanese students cannot bring their smartphones to school. I was surprised. Why not?

I think that smartphones are very convenient and necessary for our school life. We should bring our smartphones to school.
What do you think?

Regards,

△△ △△ (ALTの妹の名前)

*forbid *forbidden (過去分詞)
～を禁止する

<p>目標</p>	<p>学校へのスマートフォン持ち込みの可否に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由を含め、簡単な語句や文を用いて述べあうことができるようにする。</p> <p>新学習指導要領より エ 話すこと [やり取り] ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、読み取ったことや感じたこと、考えたことなどを伝えた上で、相手からの質問に対して適切に応答したり自ら質問を返したりする活動。</p>		
<p>評価規準</p>	<p>(1) 社会的な話題について、自分の考えや気持ちなどを、積極的に述べ合ったり、質問し合ったりしている。(関心・意欲・態度)</p> <p>(2) 社会的な話題についての自分の考えに、理由や自分の経験等を加え、内容や構成を工夫し、書いたり話したりすることができる。(表現)</p> <p>(3) ディベート形式の話し合い活動で、相手の主張の概要や要点をつかみ、適切に応じることができる。また、教科書等の英文を読み取り、内容をつかむことができる。(理解)</p> <p>(4) 現在分詞・過去分詞の形容詞的用法や、間接疑問文の文構造を理解している。ディベート形式での議論構成について知識をもっている。(言語・文化)</p>		
<p>過程</p>	<p>時間</p> <p>○ねらい めあて</p>	<p>☆振り返り (意識)</p>	<p>◇評価項目 <方法・観点></p>
<p>つかむ</p>	<p>1</p> <p><単元の課題> 学校へのスマホの持ち込みについて考え、ALTOO先生の妹の疑問に答えよう</p> <p>学校へのスマートフォン持ち込みの可否について考え、既習事項を用いその考えを共有する活動を通して、題材のゴールとなる活動内容を理解できる。</p> <p>○○先生の妹△△からのメールを読んで、その疑問について考えよう</p> <p>“We should bring smartphones to school.” Q: What do you think? A: I think so, too. / I don't think so. Q: Why?</p>	<p>☆自分の意見を言うことができた。さらに議論を上手く展開する表現を知る必要がありそうだ。【言語面】 ☆スマートフォンを学校に持ち込むことについてみんないろいろな考えをもっていることがわかった。【内容面】</p>	<p>◇メールの内容を読み、簡単な意見交換を行うことを通して、単元の課題通しをもとうとしている。 <観察, Grow-up Sheet・関></p>
<p>追究する</p>	<p>2</p> <p>○学校生活でスマートフォンが活用できるさまざまな場面を想定することで、スマートフォンの有用性について自分の考えを深めたり、広げたりできる。</p> <p>スマホが学校生活のどんな場面で役に立つのかを話し合おう。</p> <p>What can the students <u>using</u> smartphones do? (on the way to school / during (between) class / after lunch / after school)</p>	<p>☆現在分詞・過去分詞の形容詞的な使い方がわかった。【言語面】 ☆スマートフォンは学校でもいろいろな場面で役立ち、便利なものだとわかった。【内容面】</p>	<p>◇学校でのスマートフォンの使用場面について表現しようとしている。 <ワークシート・表></p>
<p></p>	<p>3</p> <p>○学校生活におけるスマートフォンの有用性を訴える相手に対して疑問点を伝えたり、それに答えたりする活動を通して、自分の主張に根拠を結びつけることができるようにする。</p> <p>スマホが学校で役立つ、という考えに対する質問と答えを考えよう</p>	<p>☆スマホは役立つという具体的な例を上げることができた。【言語面】 ☆学校生活にスマホがなくても困らないかもしれないが、あれば便利で安心だ。【内</p>	<p>◇主張に対する質疑応答の中で、工夫をし、聞き手を納得させるような説明をしようとしている。 <観察, ワークシート・表></p>

<p>ex.) Q: How can students <u>using</u> smartphones study better? A: They can research a lot of things during classes. Q: Can students use P.C.room or a library? A: Yes. But they can research immediately with smartphones.</p> <p>☆教科書を用い，現在分詞・過去分詞の形容詞的用法を確認させ，科学技術の進歩がもたらす便利さ（スマートフォン）とそれに対する疑問について考えさせていく。</p>	<p>容面】</p>	
<p>4 ○学校にスマートフォンを持ち込むことの問題点をさまざまな可能性を含めて考えることで，自分の考えをさらに深めたり，広げたりできる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>スマホの問題点について考えよう</p> </div> <p>ex.) Do you know <u>what problems using smartphones has</u>? → Students may connect with someone evil Smartphones are expensive. They costs a lo of money. → Do you know <u>how much it costs to use smartphones</u>?</p>	<p>☆間接疑問文の使い方がわかった。【言語面】 ☆スマートフォンの使用上の注意点について改めて考えることができた。【内容面】</p>	<p>◇間接疑問文を使って，スマートフォンを学校へ持ち込む問題点について会話しようとしている。 <ワークシート・関></p>
<p>5 ○学校にスマートフォンを持ち込むことの問題点について解決策を考えることで，具体的な提案を含む説得力のある議論ができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>スマホの問題点について，その解決策を考えよう</p> </div> <p>Q: What can students do for using smartphones safely? ⇒ Do you know what students can do for using smartphones safely? A: Yes, I do. (No, I don't. Do you know?) They can have some rules to use smartphones. ex.) ・ They can use smartphones at school if teachers allow them to use. ・ They can bring smartphones to school but they have to give their smartphones to teachers.</p> <p>☆教科書を用い，間接疑問文の用法を確認させ，スマホの持つ問題を解消する方法について考えさせていく。</p>	<p>☆スマートフォンの問題点を解決する案を考えられた。【言語面】 ☆学校でもスマホの使用にはルールが必要だ。【内容面】</p>	<p>◇スマートフォンを学校に持ち込む問題点について，その解決策を具体的な提案として述べている。 <観察，ワークシート・表></p>
<p>6 ○教科書を読み，議論をする上で役立つ表現を知り，ディベートの簡単な議論構成について理解できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>学校へのスマホの持ち込みについて，ディベートを行うための準備をしよう</p> </div> <p>簡単ディベートの流れ> 1 Argument (立論) ①肯定側→②否定側 (2min.) 2 Refutation (反論) ①否定側→②肯定側 (2min.) 3 Reconstruction (立て直し) ①肯定側→②否定側 (1min.) 4 Judgement (判定)</p>	<p>☆議論するときによく使う表現やディベートの議論構成がわかった。【言語面】 ☆ディベートは，肯定・否定どちらの立場になっても対応できるような十分な準備が必要そうだ。【内容面】</p>	<p>◇議論する際に役立つ表現やディベートの大まかな流れを知り，グループでの役割分担やディベートの議論構成の準備を行っている。 <観察，ワークシート・知></p>
<p>7 ○ディベートを行うための原稿メモを，傍聴するジャッジの支持が得られるように，グループで構成を考え，作成する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>学校へのスマホの持ち込みについて，ディベートを行うための原稿メモを作ろう</p> </div>	<p>☆理由や具体例，質問など整理してメモを作ることができた。 【言語面】 ☆グループで分担や作戦を考えることができた。【内容面】</p>	<p>◇ディベート用の原稿メモをグループで協力しながら作成している。 <観察，ワークシート・関></p>

		*肯定側・否定側，どちらの立場でもディベートに参加できるように準備する。 *グループ内で，発言の順番を決めておく。		
ま と め	8	○論点・内容構成の工夫をした主張を展開したり，相手の主張の概略や要点をつかみ適切に応答したりしながら簡単なディベートに参加することができる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> スマホの学校への持ち込みについて，ディベートしてみよう </div>	☆ジャッジの支持を得られるようにわかりやすく主張を展開することができた。【言語面】 ☆何をもってスマートフォンの持ち込みを可とするのか，今後も議論の必要がある。【内容面】	◇ジャッジの支持が得られるように，展開・構成や表現に気を付けながら活動に参加している。 〈観察，Grow-up Sheet・関・理〉
	9	○前時のディベート活動を振り返り，自分の意見をメール文として書いてまとめ，読み手に正しく伝わる文章を書くことができる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> スマホの学校への持ち込みについて，エリザバスに自分の意見を書こう。 </div>	☆正しい英語で自分の考えを書くことができた。【言語面】	◇メールの形式で自分の考えを正しい英文で書いてまとめている。 〈ワークシート・表・言〉

<ゴール例>

<Argument>

Team A : We should bring smartphones to school. They are very useful for our studying. For example, if I want to find out something immediately, we can search it with smartphones.

Team B : I disagree with A. We should not bring smartphones to school. I think many students like to play games. If they have smartphones at school, they will use them to play games all day. They never use them for studying.

<Refutation>

Team B : Have you ever heard of the students using smartphones to study at home? I guess many of them use smartphones for SNS and playing games! The school has a PC room and a library. If you want to find out something, you can use the rooms.

Team A : Have you ever used smartphones to study? Did you use *Study Suppli* during the closed school period? Many students have used smartphones for studying many times.

<Reconstruction>

Team A : I agree with B in part. Many students like playing games with smartphones. So we need some rules when we bring them to school. Actually, I think we should bring smartphones to school. They are useful for studying.

Team B : I see what you mean. In fact, smartphones are useful for studying. But we can do various things with smartphones. And I think students like to use smartphones except studying! So we should not bring smartphones to school.

<Evaluation>

○ Argument 【 1 2 3 】

○ Refutation 【 1 2 3 】

○ Reconstruction 【 1 2 3 】